

事務事業名		公衆トイレ維持管理事業		☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業																										
政策体系	政策名	01 潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間																										
	施策名	03 交流連携を支える交通・情報ネットワークの充実																												
	基本事業名	02 公共交通機関の利便性維持と利用促進		単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 年度～)																										
	根拠法令																													
所属	部課名	商工港湾部商業観光課		☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																										
	課長名	鈴木 弘																												
	係 名	商工係	電話 0192-27-3111																											
	担当者	鈴木雅博	内線 108																											
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 市内公共交通機関駅等に公共トイレを設置し、維持管理を行う。 [公共トイレ設置場所] JR・三陸鉄道南リアス線 盛駅前 三陸鉄道南リアス線 綾里・恋し浜・甫嶺・三陸駅前 業務内容 ①維持管理の委託 ②毎月の報告書を提出してもらう ③委託料の支払い ④物品の補充・破損箇所の修理依頼 事業費は管理委託料、光熱費、汲取り料、物品代並びに破損箇所の修繕費として支出している。				全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="5">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費 財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">人件費</td> <td rowspan="4">事業費計 (A)</td> <td>事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計 (B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>		総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		人件費	事業費計 (A)	事業費計 (A)	0	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計 (B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金																												
		都道府県支出金																												
		地方債																												
		その他																												
		一般財源																												
人件費	事業費計 (A)	事業費計 (A)	0																											
		正規職員従事人数																												
		延べ業務時間																												
		人件費計 (B)	0																											
トータルコスト(A)+(B)		0																												

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標										
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ・維持管理の委託 ・毎月の報告書を提出してもらう ・委託料の支払い ・物品の補充・破損箇所の修理依頼 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同じ		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>トイレ設置済件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	トイレ設置済件数	件	イ		ウ	
		名称	単位							
		トイレ設置済件数	件							
		イ								
ウ										
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・一般市民		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 大船渡市人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ 三陸鉄道南リアス線利用者数</td> <td>千人</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 大船渡市人口	人	キ 三陸鉄道南リアス線利用者数	千人	ク	
		名称	単位							
		カ 大船渡市人口	人							
		キ 三陸鉄道南リアス線利用者数	千人							
ク										
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・一般市民及び交通機関利用者がトイレを快適に利用できる。		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 不具合件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>シ 苦情・不具合対応率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 不具合件数	件	シ 苦情・不具合対応率	%	ス	
		名称	単位							
		サ 不具合件数	件							
		シ 苦情・不具合対応率	%							
ス										
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 利用者の利便性に配慮して運行する										

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費 財源内訳	単位	単位						
			千円						
	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円		1,951	2,477	1,930	2,798	1,951	1,951
	事業費計(A)	千円		1,951	2,477	1,930	2,798	1,951	1,951
	正規職員従事人数	人		1	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間		200	200	200	200	200	200
	人件費計(B)	千円		800	800	800	800	800	800
	トータルコスト(A)+(B)	千円		2,751	3,277	2,730	3,598	2,751	2,751
⑤活動指標	ア	件		5	5	5	5	5	5
	イ								
	ウ								
⑥対象指標	カ	人		39,376	39,117	38,871	39,000	39,000	39,000
	キ	千人		234	388	500	1,000	1,000	1,000
	ク								
⑦成果指標	サ	件		3	1	2	3	3	3
	シ	%		100	100	100	100	100	100
	ス								

事務事業ID	0409	事務事業名	公衆トイレ維持管理事業
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	事業開始年度は不明だが、市内公共交通機関利用者が快適に利用できるようにするためには、トイレの設置も欠かせないものであるため設置した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	三陸鉄道は、東日本大震災により被災し、運休を余儀なくされていたが、3年間の復旧工事に着手。H26年4月全線再開はしたものの、地元住民の利用離れが懸念されている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	特になし

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ トイレを設置することにより、公共交通機関利用者の利便性が向上され、もって快適な都市環境の創造に寄与できる。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ 公共交通基盤の整備が市民生活の利便性向上に繋がることを考慮すると、広域的な視点での取り組みとして行政が整備することは妥当と考えられる。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ 一般市民を対象としており、一般市民及び交通機関利用者がトイレを快適に利用できるようにすることを目的としているため適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果指標「苦情・不具合対応率」は100%であり、これ以上の成果向上余地が認められない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 使用が多いトイレ設置を廃止することは難しい。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 類似する事業がない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 現在でも適切な予算で運用しているので、これ以上削減すると委託業者が見つからない可能性が高い。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 可能な限り業務を委託済みである。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 公共交通機関の利便性向上は、市民全般で利益を享受できる。

事務事業ID	0409	事務事業名	公衆トイレ維持管理事業
--------	------	-------	-------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 各トイレの維持管理業務を委託した。修繕が必要なものは修繕を行った。																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容)		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 																							

(職 名) ※原則として施策の主管課長		(氏 名)
2次評価者	商業観光課長	鈴木 弘

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☒ 一部記述不足のところがある ☐ 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 適切な事務執行がなされている。																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 引き続き事業を実施する。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
